

令和3年度
印西市民アカデミーだより
 第13号

印西の歴史散策12（印旛／瀬戸）

10月29日(金)、旧印旛村シリーズの第2回目は瀬戸地区です。今回のメインは、印旛沼を望む小高い丘の上から眺める富士山&夕焼けです。3日後には、ダイヤモンド富士が見られるとのこと。どんな絶景が見られるか楽しみです。コースは、印旛公民館→願定院本願寺→瀬戸宗像神社→弁天池→徳性院多門寺→印旛公民館(約3.5km)です。



無量壽山願定院本願寺(天台宗)の右手にある馬頭観音堂。「日本無双開運出世馬頭観音」として広く信仰されてきました。正面上部に白馬の彫刻が飾られています。



印西市内にある宗像13社の一つである瀬戸宗像神社。近くには印旛沼の対岸の土浮(佐倉市)と瀬戸を結ぶ渡しがあり、航路の安全を祈願したようです。



瀬戸宗像神社の鳥居の向かいにある塚には、大変珍しい大黒様を刻んだ「甲子塔」と梵字で書かれた曼荼羅を刻んだ「光明神咒供養塔」が並んで建っています。



江戸時代に眼下に広がる印旛沼の航路安全祈願のため、近隣寺院を併合して現在の地に建立された合集山徳性院多門寺(真言宗豊山派)。



富士山の稜線に沿って山頂に向かう夕日の光線に空が二分されていく様に感動！！



帰路見つけた目玉が光る大ナマズの街路灯に一同ビックリ！